

小田急沿線  
自然ふれあい歩道

お散歩ガイド

# 代々木八幡駅～代々木上原駅コース

玉川上水緑道と緑豊かな邸宅街を巡って



ルート 合計約4.0km

- メインルート**
- 代々木八幡駅 80m
  - エンジュと駅前の植物 170m
  - 福泉寺 50m
  - 代々木八幡宮 300m
  - 沿道の植物 1000m
  - 渋谷区スポーツセンター 700m
  - 玉川上水西原緑道 900m
  - 代々木大山公園 400m
  - 住宅街の植物 400m
  - 代々木上原駅



0 100 500m

# 代々木八幡駅～代々木上原駅コース

玉川上水緑道と緑豊かな邸宅街を巡って



## コース詳細

### 2 縄文遺跡



竪穴式復元住居

代々木八幡の境内には縄文時代の遺跡があり、渋谷区の史跡に指定されています。1950年の発掘により、約4500年前の住居跡が発見され、現在は竪穴式の住居が復元されています。当時は海進により武蔵野台地の下まで海が広がり、それに面した高台に縄文人が生活していたそうです。神楽殿そばの展示館には、出土した石器・土器と発掘当時の写真や縄文時代の集落を模したジオラマが展示されています。

### 3 代々木八幡宮



代々木の総鎮守である代々木八幡の創建は、1212年です。境内はスダジイ・アカガシ・マテバシイなどの常緑樹を主とし、ケヤキ、イチヨウなどの混生する鬱蒼とした林になっていて、渋谷区の保存樹林に指定されています。また、東に隣接する福泉寺では、スダジイ、イヌガヤ、サルスベリ、シキミ、モッコクなどがみられます。

メモ

マテバシイ ブナ科／九州や沖縄の沿岸地に生育する常緑高木／葉は全縁で厚く、裏面は褐色／6月に黄褐色の花序をつける／開花の翌年の秋に熟す実（どんぐり）は、渋みが無く食べられる。



マテバシイ

### 4 緑豊かな道



この道は、江戸時代から代々木八幡への参詣道としても使われてきた道の姿を尊重し、大木を残しながら整備されていることから曲がりくねっています。また、宅地開発に際しても既存樹木を出来るだけ残すように配慮されており、クスノキ、スダジイ、アカガシ、トウカエデ、ソメイヨシノなどの区保存樹木が点在した閑静な住宅街が形成されています。

# 代々木八幡駅～代々木上原駅コース

玉川上水緑道と緑豊かな邸宅街を巡って



## コース詳細

### 5 渋谷区スポーツセンター



総面積24,000m<sup>2</sup>の施設が充実した総合体育施設です。周囲は都心とは思えないほど豊かな緑に囲まれ、また、樹形の良い大きなケヤキの列植や並木が多く、目をひきます。

メモ

ケヤキ：ニレ科／本州から九州の丘陵地や山地に生育する落葉高木／春の芽吹きや秋の黄葉、ほうき状の樹形が美しく、街路や公園などにも植えられる／4～5月に黄緑色の小さな花を咲かせ10月には実が熟す／材は木目が美しく、建築、家具、お盆や漆器などに用いられる。



ケヤキ並木

### 6 玉川上水西原緑道



玉川上水は江戸時代に急増する都市住民の飲料水を確保するため、多摩川の羽村取水口から四谷大木戸（現在の新宿御苑前）まで掘られた用水路です。旧水路を暗渠化し、その上部を緑道として整備したものが玉川上水西原緑道です。緑道に残る橋がかつてここに上水が流れていた事を偲ばせます。都心部では玉川上水旧水路はほとんどが暗渠化されていますが、笹塚駅の南部には旧水路が現われ、水の流れをみることができます。



復元された橋

### 8 住宅街の植物



邸宅が立ち並ぶ閑静な住宅街の道沿いにはサツキ、カナメモチ、ヒサカキ、サンゴジュなどを用いた生垣が続きます。

メモ

サツキ：ツツジ科／溪流の川岸に自生する半常緑低木／春から初夏にかけて朱色の花を咲かせる／名前は、陰暦の5月頃に開花することから来ている。

サンゴジュ：スイカズラ科／本州（千葉以西）から沖縄の沿岸地に生育する常緑高木／6月に白い花を、8～10月に赤色～黒色の実をつける／たくさんついた実と果序の枝が赤い様子をサンゴに見立ててこの名前がついた。



# 代々木八幡駅～代々木上原駅コース

玉川上水緑道と緑豊かな邸宅街を巡って



A large rectangular area for writing, featuring a top border of small circles and horizontal dashed lines for text alignment.